

指示待ち人間にできる仕事はすべて AI が取って代わる時代

# 子供の生きる力を育てる方法

～これからの学校教育の在り方とアートが担う役割～

今回は、名古屋市の AMC アート&マインドセンターの  
オープン記念を祝って、RCF と教育をテーマに  
お二人に語っていただきます。



佐々木浩一  
セルフリーダーシップ開発コ  
ンサルタント、RCF 考案者。

水谷イズル  
現代美術アーティスト、創造教室  
AMC キッズ、アートアンドマイン  
ドセンター主宰。

×

## 子供の未来を開く創造性教育とは？

情報が溢れかえり、人工知能（AI）が発達した現代。今後、誰でもできる仕事、機械化できる仕事で働く人間は必要なくなっていくといわれています。

そんな時代を生きる私たちには、自ら生み出す創造力、クリエイティブに生きるということが非常に重要なことだというのは、多くの知識人とともに、佐々木氏も水谷氏も認識しております。

そして残念なことに、今の日本では創造力を養う原点である芸術教育はその価値を理解されず、重

要視されていないところがあります。これはとても危機な状況です。人間が人間らしく豊かに生きる上で、アート（創造と表現）に取り組むこととマインドの成長は密接な繋がりを持っており、今後の社会で役に立つものだという事は、今多くのアーティストや教育者達が感じている処ではないでしょうか。

アートは全て一流でなければならないという先入観はありませんか？よく分からないもの、なんだか凄そうなもの…でもこんな私が描いたものなんて、あなたのお目目を汚してしまうわ、ああこんなものを見せてしまってなんて恥ずかしい、ごめんください…。まさにこれが今の日本人に多い心の状態とアートに対する誤認です。

確かにすぐれた作品は大きな社会的影響力を持ち、人の心に働きかけます。それは芸術の一つの役割です。

ですが、だからと言ってそれ以外が認められず価値がないのかというと、それは全く勘違いです。アートの本質はもっと身近で、それに取り組むということ自体は、とてもクリエイティブに生きるという意味を持っていて、やる側も見る側も心を豊かに育てる非常に重要なものだと思います。しかし、どこか人にはジャッジが働き、自分や他人のクリエイティブの芽を潰してしまう所があるように思います。それは、心の問題であり、比較から生まれる優越感と劣等感による「誤認」が原点であったりします。

見る側もやる側も、ここを超えて行けた時、あらゆる創造力が陽の目を見るのではないのでしょうか。それは、多くの人たちにとって、幸せになっていく方角であると私たちは考えます。

このような点に関して、人間理解のプロで RCF 考案者の佐々木氏と、現代アーティストとして現代を生きる水谷氏で、集まった人たちと共に、この社会の問題をどう認識し、どうすれば創造的に生き抜けるかを検討します。この場が皆さんの意識を開いて頂くきっかけとなれば幸いです。

文：AMC シノダユキ

<水谷氏よりご挨拶>

父の代より永年アートを通して子どもたちの創造教育に携わってきました。心理学や佐々木さんの RCF メソッドを学んで、それはアーティストが作品を作るプロセスに近いという事に気がつきました。頭の中に浮かんだアイデアやビジョンを明確化して、ワクワクする感情をエネルギーに思考、計画のプロセスを経て現実のものにしてゆく手順。作品のみならず、人生やビジネスの現場でも有効であることを佐々木さんから学びました。実際にこの、僕が主宰する AMC アート&マインドセンターも RCF メソッドを実践した結果生まれた場所です。一見不可能に見えることも、RCF メソッドに沿っていけば実現します。これは、創造性プロセスです。アートを通して子どもたちが夢を実現してゆく力を育てたいと思っています。

日時： 2017年8月27日 14時～16時

会場場所： 申込者に通知

参加費： 5000円

申し込みフォーム

<https://39auto.biz/gracefulmoment/regires.php?tno=409>

主催： RCF パブリッシング

協力： AMC&水谷イズル

二人三脚ファミリー